

4 情報政策の新たな展開

■ 現状と課題

● 暮らしの情報化の進展

パソコンブームやインターネットの爆発的な普及などに示されるように、情報化は産業の分野にとどまらず、個人や家庭生活の場へと浸透が進んでいます。

こうした状況を受けて、遠隔医療や遠隔教育など、ネットワークを活用した新しいマルチメディア・サービスの提供に向けた検討や実験が進められています。

こうした中で、行政には、暮らしの分野の情報化を促進するため、多様なマルチメディア・サービスの展開を図るなどの点で、先導的な役割を果たすことが求められています。

● 情報化による行政の変革

社会経済のあらゆる分野へと進展する情報化の流れの中で、行政の分野においても、県民サービスのより一層の向上と行政のスリム化に向けた情報化が進展しています。

本県でも、1996年（平成8年）3月に「行政情報化プログラム」を策定し、これまでのOA化から、ネットワークを活用した情報共有を進める情報化へと転換を進めています。

行政の情報化の推進にあたっては、情報化に対応した組織改革や事務運営の見直しが求められています。

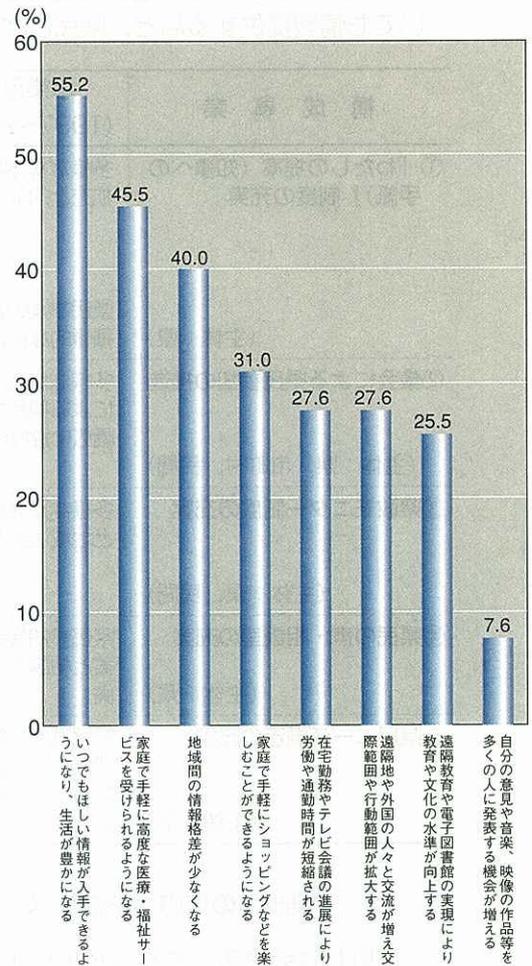
● 次世代情報通信基盤整備の取組みの進展

現在、様々なマルチメディア・サービスの実現に向け、高速・大容量の次世代情報通信基盤整備への取組みが進められています。

県内では、光ファイバを利用した基幹通信網の構築が進み、また、新たな情報通信基盤として期待されている都市型CATV網の整備が急速に進展しています。

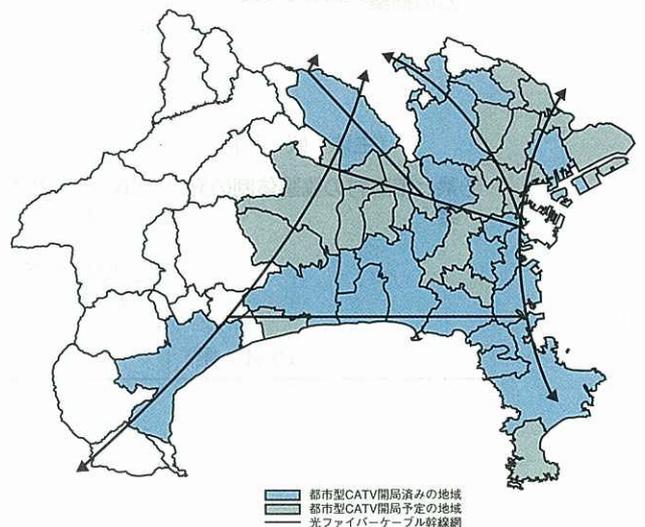
今後は、こうした家庭までを結ぶ高速・大容量の情報通信網を構築することが課題となっています。

マルチメディアが進展すると生活や社会にどのような利点があるか（複数回答）



（資料 県民部「第1回県政モニター課題意見」96年度）

県内の情報通信基盤の状況
（96年12月現在）



（企画部）

(1) 多彩な県民生活を支援するくらしの情報化の推進

マルチメディアやインターネットを活用した双方向のコミュニケーションによる行政サービスの展開や、県民のくらしや活動を支える多様な*公共的アプリケーションの構築を進めるとともに、県市町村の連携による行政サービスの広域的展開を図るなど、多彩な県民生活の実現に向けて、くらしの分野での情報化を進めます。

また、個人情報保護や情報格差の是正、セキュリティの確保などの様々な課題に対応し、健全で不安のない情報化を進めます。

主要施策 多様なマルチメディアサービスの提供

302

マルチメディア等を活用した双方向の行政サービスの展開を図るとともに、多様な公共的アプリケーションを構築し、医療・福祉、教育、文化、防災、地域活動など多様なくらしの分野の情報化を進めます。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①ワンストップ（総合窓口） ・ノンストップ（24時間窓口）サービスの推進 （主体：県、市町村）	マルチメディア情報端末の整備	パイロットプロジェクトの推進	・マルチメディア情報端末による行政サービスの検討 ・モデル地域におけるパイロットプロジェクトの推進	
②くらしの分野の公共的アプリケーション（ソフト）の整備（再掲） （主体：県）	県民生活を支援する公共的アプリケーションの整備	保健情報ネットワークや生涯学習情報ネットワークの構築、図書館情報ネットワーク・システムの再編整備等	・多彩な県民生活の実現に向けて、医療・福祉、教育、文化、防災、地域活動など、多様なくらしの分野の公共的アプリケーションの整備	救急医療情報システム 学習・文化情報システム 図書館情報ネットワーク・システム等

主要施策 健全で不安のない情報化の推進

303

高度情報化に伴う影の部分への対応を図るため、データの漏えい防止をはじめとする個人情報の保護やセキュリティの確保などのルールづくりを進めるとともに、様々な情報格差の是正や情報倫理の醸成を図り、誰もが安心して情報化に親しみ、活用できる環境の整備に努めます。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①高度情報化に対応したルールづくり （主体：県）	個人情報の保護やセキュリティ確保のためのルールづくり	各種ガイドラインの整備	・情報政策懇話会及び高度情報化推進会議等の運営 ・高度情報化の進展への対応方針の確立	情報システム関連規定等の現状調査の実施

*公共的アプリケーション…光ファイバ網等のネットワークを利用して、施設予約や遠隔医療などの公共的サービスを行うためのコンピュータ・ソフト

(2) 情報交流を促進する行政の情報化の推進

文書処理の電子化等の推進により、行政事務の高度化、効率化、省資源化を図ります。
 このため、基盤となる行政情報ネットワークの整備・促進を図るとともに、市町村等との電子的な情報交流を推進するなど、行政の情報化を計画的に進めます。

主要施策 行政事務の高度化・効率化に向けた情報化の推進 304

紙による情報処理から電子化された情報処理への移行を進め、これまでの制度や仕事のやり方を見直すなど、行政事務の高度化・効率化を進めます。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①共通オフィス事務の情報化の推進 (主体：県)	管理事務トータルシステムの稼働	グループウェアの導入	・本庁ネットワークの整備にあわせたグループウェアの導入	グループウェアの検討
		管理事務トータルシステム稼働	・会計管理、予算編成システム稼働 ・人事・給与、共済システム、旅費システム稼働	会計管理システム基本計画策定
②文書処理の電子化の推進 (主体：県)	統合文書処理システムの稼働	システムの一部稼働	・文書作成、回議、施行、保管など文書処理全般の総合的な電子化	整備計画の策定
③部局業務の総合的な情報化の推進 (再掲) (主体：県)	土木行政総合情報システムの稼働	基本設計 工事費設計積算システムの稼働 その他システムの開発・稼働	・事業計画、予算管理、設計積算、工事施工等の土木行政全般の有機的連携を可能とする総合システムの基本構想の策定、一部の開発・稼働	基本構想の検討

主要施策 行政情報ネットワーク整備の推進 305

行政の情報化の推進を支える行政情報ネットワークやネットワーク化されたパソコンをさせる環境を整備します。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①本庁ネットワーク (LAN)、広域ネットワーク (WAN) の構築 (主体：県)	ネットワーク化されたパソコンの活用環境の整備	本庁・出先機関 LAN の整備	・本庁・主要出先機関庁舎内の情報通信基盤整備 ・パソコンやサーバの整備	本庁舎整備
		WAN の整備	・本庁機関と出先機関及び出先機関相互の情報通信基盤整備	調査実施
		外部ネットワークとの接続	・接続環境の整備	

(3) 新たな情報化推進基盤の整備・促進

情報ネットワーク社会を支える光ファイバ網などの新たな情報通信基盤の整備・促進を図るとともに、CATVや衛星通信など、多様な情報通信ネットワークの活用を進めます。

また、学校における情報教育や情報化に対応した職業能力開発などを推進し、情報ネットワーク社会を担う人材の育成を図ります。

主要施策 情報通信基盤整備の推進

306

県域の光ファイバ網の整備等により新たな情報通信基盤の整備・促進を図るとともに、多様な情報ネットワークの活用を進めます。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①広域CATVネットワークの整備・促進 (主体：県、市町村、民間)	県内ネットワークの構築	協議会設置(97年度) 公的支援のあり方の検討	・県民、企業、行政等による広域CATVネットワーク推進協議会(仮称)の設置・運営 ・広域CATVネットワークの構築 ・双方向サービスの実験推進	
②地域衛星通信ネットワークの活用 (主体：県)	地球局整備に伴う有効活用	地域映像情報の発信	・地域衛星通信ネットワーク構想に基づく地域映像情報の発信	年6番組の地域映像発信
③電線の地中化(再掲) (主体：県)	整備延長48km	整備延長24km	・国道129号等	29km完成

主要施策 情報化を進める人材の育成

307

情報化に対する県民の理解の促進を図るとともに、県の情報政策推進の基盤となる情報化を進める人材の育成を図ります。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①情報化に対応した職業能力開発の推進(再掲) (主体：県)	実践技術者の育成	同 左	・産業技術短期大学校における情報化に対応した訓練コースの実施	
②情報教育の推進(再掲) (主体：県、市町村)	マルチメディアの学校教育における活用 県立高校全校におけるインターネットの活用	同 左 同 左	・マルチメディアを活用した教育の研究・研修 ・教育情報ネットワークの充実とインターネットへの接続 ・「教育ネットかながわ」への接続によるインターネットの利用	「教育ネットかながわ」の運用
③ネットワークに対応した人材の育成・支援 (主体：県)	人材育成の推進	育成・支援体制の整備	・職員の情報活用能力の向上、指導的な人材の育成のための体制の整備	

情報施策の展開

県が市町村や民間と連携して推進する様々な分野の情報施策を体系的にまとめました。

